

お酒に弱い人必見！急性アルコール中毒を予防できるサプリとは？

[Mocosuku Woman](#) 12月11日(木)21時0分配信

[お酒に弱い人必見！急性アルコール中毒を予防できるサプリとは？](#)

12月に入り忘年会シーズンに突入しました。忘年会だどつつい飲みすぎてしまったり、連日の飲酒をするということもあるのではないのでしょうか。

この時期は、お酒が原因で体調不良になったり、病気になる人が増えています。普段酒に強いと自負している人であっても、ノリにまかせて一気に飲みをするなど 短時間でアルコールの多量摂取をすることで急性アルコール中毒を起こし、しばしば昏睡状態に陥ったり、死亡してしまう例も報告されています。

このほど、犬房春彦氏(岐阜大学生命科学総合研究支援センター抗酸化研究部門客員教授)が、自身が開発したアミノ酸とビタミン類の配合剤『SUPALIV』を用いたマウス実験で、酸化ストレスの抑制および急性アルコール中毒への予防効果を確認しました。

◆急性アルコール中毒とはどんな状態？

急性アルコール中毒とは、アルコール飲料を摂取することで、身体が精神的・身体的な影響を受けた状態になり、意識障害を引き起こしたり、呼吸・循環中枢が抑制され、死亡に至る場合もあります。

人間は飲酒をすれば「酩酊」とよばれる酔った状態になります。通常、血中アルコール濃度が0.02%から0.1%程度でほろ酔いと呼ばれる状態になり、0.4%を越えると昏睡期という生命に危険を生じうる状態になると言われています。

個人差もあるため、どの程度から急性アルコール中毒になるかどうかについては明確な基準はありませんが、飲酒により意識レベルが低下し、嘔吐、呼吸状態が悪化してきた場合は要注意です。急性アルコール中毒により死亡にいたる場合、原因としては血中アルコール濃度が高まることによって呼吸・循環中枢が抑制される場合と、吐物による窒息で呼吸困難となり死亡する場合があります。若年者・女性・高齢者などは特にリスクが高まると言われています。

◆どんな実験をしたの？

今回実験に用いた『SUPALIV』は、以前 2008 年に臨床治験で「アルコールの代謝を促進し、酒酔いの諸症状を緩和させる」効果については確認されていました。しかし、アルコール代謝過程で生じるアセトアルデヒドによる酸化ストレスの動態については明らかにはなっていませんでした。

そこで犬房氏は今回、マウス腹腔内アルコール投与モデルを用い、アセトアルデヒドと酸化ストレスの動態を測定し、『SUPALIV』投与による低減効果と、さらにマウス急性アルコール中毒モデルを用いて、臨床的に行なわれているグルコース点滴治療の効果や『SUPALIV』の複数回投与後の死亡抑制効果を検討しました。

その結果、『SUPALIV』が血中アルコールやアセトアルデヒドだけでなく、酸化ストレスを低下させることでアルコールによる臓器障害を予防していることが示唆され、『SUPALIV』の急性アルコール中毒への予防効果が明らかとなりました。

Mocosuku 編集部